



2019 **3**

目次

- 1. 水土里ネット宮崎が平成30年度水土里ネット職員研修会を開催 2
- 2. 農林水産省と宮崎県が農業農村整備事業等に関する説明会及び意見交換会を開催 3
- 3. 平成30年度第2回理事会を開催 4
- 4. 平成30年度第2回監事会を開催 4
- 5. 平成31年度 農業農村整備事業関係予算概算決定に係る拡充内容の紹介 5
- 6. 平成30年度水土里ネット宮崎 資格取得者の紹介 6



丸目賢一水土里ネット大淀川右岸理事長の挨拶



参加者による現地訓練

大規模災害時における相互応援の合同会議及び訓練を実施

県内にある8つの国営事業地区水土里ネットは、去る2月22日、水土里ネット大淀川右岸中央管理所にて、関係者24名出席のもと、大規模災害時における相互応援の合同会議及び訓練を実施した。

水土里ネット宮崎が平成30年度水土里ネット職員研修会を開催

本会は、去る2月21日、宮崎県土地改良会館4階研修室にて、県内水土里ネット職員ほか85名参加のもと、平成30年度水土里ネット職員研修会を開催した。

研修会は、農政の動向及び農業農村整備の展開に関する最新の情報を提供するとともに、更なる組織運営の強化を図ることを目的として開催しており、今回は、平成31年4月1日から施行される改正土地改良法において、決算関係書類に原則として貸借対照表作成が必要になることを受けて、平成34事業年度から水土里ネットが対応できるように、複式簿記の研修を実施した。

はじめに、三好亨二常務理事が挨拶した後、金内琴美全国水土里ネット経理部主任が複式簿記の基礎知識や仕訳の仕方などを説明した（内容は下記のとおり）。

国は、土地改良法改正後の支援の一環として、水土里ネットを対象とする巡回指導の実施や特別研修の開催、簡易な会計ソフトの開発などを平成31年度事業の拡充内容にあげている。



研修を受ける水土里ネット職員



水土里ネット宮崎
三好常務理事



全国水土里ネット
金内主任

〈研修内容〉

1. 複式簿記の基礎知識

簿記の目的、単式簿記と複式簿記の違い、勘定記入のルール、仕訳について など

2. 仕 訳

普段の業務で頻繁に発生する取引事例を基にした仕訳票の作成 など

3. 資産評価と減価償却

資産の評価方法と減価償却費の計算方法について など

4. 演 習

上記を踏まえた演習問題、精算表の作成 など

※改正土地改良法による複式簿記導入について

平成31年4月1日施行の改正土地改良法において、土地改良区並びに土地改良事業団体連合会は、決算関係書類として、事業報告書、収支決算書及び財産目録に加えて、原則として**貸借対照表**を作成することとなった（改正土地改良法第29条の2等）。

貸借対照表作成にあたっては、複式簿記の導入が効果的である。

（※上記は、改正土地改良法施行前から存在する土地改良区並びに土地改良区連合には、**施行日から起算して3年を経過した以後に開始する事業年度から**適用される（土地改良法附則第6条）。）

◆土地改良法改正後から複式簿記導入までの本会の支援体制(2月号6、7ページ「3.土地改良法改正関係」にて紹介)

- ・土地改良区の管理する施設の資産評価への支援
- ・法改正後、複式簿記導入までの3年間において、土地改良区への巡回指導を実施

農林水産省と宮崎県が農業農村整備事業等に関する説明会及び意見交換会を開催

農林水産省と宮崎県は、去る 2 月 1 日、宮崎県土地改良会館 4 階研修室にて、市町村の農業農村整備事業関係者、水土里ネット役員など 200 名出席のもと、農業農村整備事業等に関する説明会・意見交換会を開催した。

本説明会並びに意見交換会は、次年度の農業農村整備事業関係予算の概算決定後毎年開催されており、予算の概要や新規・拡充事業等の説明と農業農村整備事業に関する意見交換が行われている。

●第 1 部 農業農村整備事業等に関する説明会

はじめに、浜田真郎県農村計画課長、日置秀彦農村振興局整備部農地資源課長が主催者として挨拶した後説明に移り、愛宕徳行設計課長補佐が「平成 30 年度補正予算及び平成 31 年度当初予算概算決定の概要」、「新規・拡充事業等」、「農業用ため池の防災対策の強化に向けて」、笹嶺健一九州農政局経営・事業支援部農地政策推進課農地集積指導官が「基盤整備と農地中間管理機構との連携」についてそれぞれ説明した。

●第 2 部 意見交換会

説明会終了後は、農林水産省職員及び各管内から選出された市町村長、水土里ネット理事長による農業農村整備に関する意見交換会が行われた。

はじめに、日置課長が挨拶した後、引き続き、「土地改良予算概算決定の概要」、「国の財政と予算の状況」について説明した。その後、「農業・農村の構造や社会全体の課題、価値観が大きく変化する中での土地改良事業を契機とした地域振興の図り方」をテーマに意見が交わされた。

出席者からの意見（抜粋）

- 耕作者の高齢化、後継者不足により遊休農地が増加傾向にある。そこで、基盤整備をして農地を集約し、高収益作物の栽培等で地域振興を図りたい。
- 基盤整備を契機に法人が設立され、農地集積やイベント開催によって地域活性が図られた。今後の地域振興にはこのような法人の力が必要になると思う。
- 認定農業者がやりがいをもって農業経営が出来るよう、畑地かんがい事業の早期完了が必須であり、そのためには予算の確保が重要である。



説明会



農村振興局 日置課長



農村振興局 愛宕課長補佐



九州農政局 笹嶺指導官



県農村計画課 浜田課長



意見交換会

平成30年度第2回理事会を開催

去る2月14日、宮崎県土地改良会館2階役員会議室にて、平成30年度第2回理事会を開催した。

理事会は、丸目賢一会長をはじめ本会の理事・監事に加え、県から浜田真郎農村計画課長、盛永美喜男農村整備課長など24名出席のもと開催された。

はじめに、丸目会長が挨拶した後、栢木信治代表監事から、平成30年4月から11月までの中間監査について、関係書類等が適正に処理されていると監査報告があった。その後、丸目会長を議長として議事に移り、第61回通常総会に上程する関係議案等について審議され、全議案とも原案どおり承認された。



丸目会長の挨拶

〈提出議案〉

- 第1号議案 職員給与規程の変更(案)について
- 第2号議案 旅費規程の変更(案)について
- 第3号議案 役員報酬規程の変更(案)について
- 第4号議案 平成30年度一般会計収入支出補正予算(案)について
- 第5号議案 平成31年度経費の賦課基準及び賦課徴収の方法(案)について
- 第6号議案 平成31年度役員報酬(案)について
- 第7号議案 平成31年度事業計画並びに一般会計収入支出予算(案)について
- 第8号議案 平成31年度取引金融機関並びに一時借入金限度額、借入方法(案)について
- 第9号議案 財政調整積立金の運用(案)について
- 第10号議案 役員を選任(案)について
- 第11号議案 第61回通常総会の開催並びに同提出議案(案)について
- 第12号議案 土地改良功労者表彰の選定(案)について

平成30年度第2回監事会を開催

去る2月6日、宮崎県土地改良会館2階役員会議室にて、第2回監事会を開催し、引き続き第2回監査を実施した。

監事会は、栢木信治代表監事、川野恒道監事、甲斐一太郎監事出席のもと開催され、平成30年度一般会計収入支出補正予算(案)の承認を含む3議案が審議され、原案どおり承認された。

引き続き監査が実施され、法令及び定款並びに規約と事務、事業計画とその執行、平成30年4月から11月までの予算及び事業の執行にかかる適合状況、会計伝票と会計証憑しょうひょうの整理、保存状況などが監査され、財政、業務、会計いずれも適正に運営、処理されていることが確認された。



栢木代表監事の挨拶

〈提出議案〉

- 第1号議案 平成30年度一般会計収入支出補正予算(案)の承認について
- 第2号議案 平成30年度第2回監査内容について
- 第3号議案 監査結果の処理方法について

平成31年度 農業農村整備事業関係予算概算決定に係る拡充内容の紹介

農林水産省は、去る 12 月 21 日に、平成 31 年度農林水産省関係予算概算決定の概要並びに平成 30 年度補正予算案を公表した。今回は 2 月号に引き続き、事業の拡充内容（案）を一部抜粋して紹介する。

○多面的機能支払交付金

●新たな加算措置の創設（2月号8ページ「4.日本型直接支払」にて紹介）

●組織の広域化・体制強化にかかる支援見直し（2月号8ページ「4.日本型直接支払」にて紹介）

●資源向上支払（長寿命化）の見直し（案）

交付金の効率的かつ効果的な執行の観点から、工事 1 件あたりの費用は原則 200 万円未満とする。200 万円以上の工事を実施する場合は、農業水路等長寿命化・防災減災事業など他事業を活用するか、資源向上支払（長寿命化）で実施する場合は「長寿命化整備計画書」を策定し、市町村長へ提出し、市町村の審査を受ける必要がある。

●活動の事務簡素化（案）

・活動項目・取組の整理統合

・対象となる取組内容はそのままに選択する取組数を削減（162 個→66 個）

・取組に通し番号を振り、活動記録の取組番号入力などに対応

見直しの内容（一例）

		これまで	これから
実践活動	水路	水路の草刈り	<7> 水路の草刈り
		ポンプ場、調整施設等の草刈り	
		水路の泥上げ	<8> 水路の泥上げ
		ポンプ取水槽等の泥上げ	
		かんがい期の注油	<9> 水路附属施設の保守管理
		ゲート等の保守管理	
		透光施設の適正管理	
			7個→3個に削減

		これまで	これから
実践活動	農道	路肩、法面の初期補修	<32> 農道の軽微な補修等
		軌道等の通車施設の維持補修	
		破損施設の補修	
		きめ細やかな雑草対策	
		側溝の目地詰め	
	附属施設	側溝の不周沈下への早期対応	
		側溝の裏込材の充填	
		破損施設の補修	
			8個→1個に削減

・申請・報告様式の見直し

- ・文字を大きくする、分かりにくい箇所には説明を加えるなど、見やすく分かりやすい様式に見直し
- ・各様式間の記入項目を見直し、関連性の高い様式を1つのエクセルファイルに集約。様式間の参照による自動入力で入力が必要な箇所を削減、入力ミスを回避

見直しの内容（エクセル形式の様式における一例）

これまで			
取組番号	取組区分	活動項目	取組
7	10	農地維持	水路の草刈り

複雑なチェックボックスから選択

これから

①リストから取組に対応する番号を選択 → の活動内容が自動で入力

（左から括弧で入力してください）

取組番号	取組区分	活動項目	取組
7	10	農地維持	水路の草刈り
		農地維持	農道の草刈り

入力が簡単!

これまで		これから	
取組	計画	実施	項目
点検	○	○	日当
年度活動計画の策定	○	○	購入・リース費
			金額
			500,000円
			200,000円

作成が容易!

各シートの様式間の参照により、入力箇所数を約60%削減

活動計画書に入力すると自動で入力される

活動記録に入力すると自動で入力される

金銭出納簿より自動で入力される

実施状況確認報告書（市町村担当者作成）

実施状況報告書等からの参照により入力不要に ※エクセル形式で報告書が提出された場合

※掲載内容については、実施要綱・要領の審査等により変更となる場合がございます。

平成30年度水土里ネット宮崎 資格取得者の紹介

平成 30 年度におきまして、本会の職員が以下の資格を取得しました。
本会では、より一層の技術力向上のため、会を挙げて資格取得に取り組んで参ります。



村岡 慎也
(事業部設計課)

技術士補



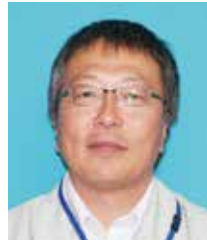
福留 久男
(事業部計画課)

技術士補



滝谷 亮
(事業部設計課)

技術士補



中村 浩一郎
(総務部会員支援課)

農業土木技術管理士
会計指導員



山下 耕一
(南部事務所農村整備課)

農業土木技術管理士



首藤 嘉弘
(事業部計画課)

農業土木技術管理士



伊藤 和幸
(総務部会員支援課)

農業土木技術管理士



松本 十郎
(総務部会員支援課)

畑地かんがい技士



外園 浩二
(事業部換地課)

土地改良補償業務管理者



齋藤 修
(総務部会員支援課)

会計指導員



野寄 光
(総務部会員支援課)

会計指導員

水土里ネット宮崎取得資格一覧 (平成 31 年 3 月時点)

資格名		人員	資格名		人員	資格名		人員
農業土木	技術士(総合技術監理-農業-農業土木)	2	施設管理	農業水利施設機能総合診断士	3	農村環境	技術士(環境-環境保全計画)	1
	技術士(農業-農業土木)	2		農業農村地理情報システム技士	5		技術士(衛生工学-廃棄物管理)	1
	技術士補(要件のみ)	19		第一種電気主任技術者	2		RCCM(下水道:要件のみ)	1
	農業土木技術管理士	26		第三種電気主任技術者	1		環境計量士	2
	畑地かんがい技士	22		第一種電気工事士	4		農業集落排水計画設計士	8
	畑地かんがい技士補	3		ダム管理主任技術者	1		浄化槽管理士	12
				高所作業車運転技能講習修了者	2		浄化槽技術管理者	11
				電気取扱(低圧)業務特別教育修了者	3		浄化槽設備士	9
				電気取扱者に対する安全衛生特別教育(高圧・特別高圧電気)修了者	2		浄化槽検査員	6
				2級ポンプ施設管理技術者	2		第二種酸素欠乏危険作業主任者	12
施工管理	一級土木施工管理技士	23	測量・換地	一級機械保全技能士	1	二級ピオトープ計画管理士	1	
	二級土木施工管理技士	18		コンクリート技士	2	情報処理技術者(初級アドミニストレータ)	1	
	一級管工事施工管理技士	5		測量士	17	情報処理技術者(ITパスポート)	1	
	二級管工事施工管理技士	1		測量士補	25	会計指導員	4	
	一級造園施工管理技士	5		土地改良換地士	11			
	一級建築施工管理技士	1		土地改良補償業務管理者	5			
	給水装置工事主任技術者	1						
				総計	284			